

教科		地理歴史科		科目	世界史 A	単位数	2 単位
学年	1 年	科	普通科		専攻・コース	中高一貫	
教科書		実教出版 世界史 A		副教材			
学習到達目標		1 近現代史を中心とする世界の歴史を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。 2 現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考を培う。 3 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
評価の観点		・近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 ・近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。 ・近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。					
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標		備考	
前 期	前期第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の時代 ・第一次世界大戦 		<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義時代の背景を考察し、19 世紀の資本主義列強が行った対外膨張政策について理解する。 ・第一次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解させ、平和の意義などについて考察させる。 			
	前期第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア革命 ・ヴェルサイユ・ワシントン体制 ・1920 年代の欧米諸国 ・世界恐慌 		<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦はロシア革命とドイツ革命を勃発させ、終結から戦後処理ではアメリカが大きな役割を果たしたこと、また、現在のパレスティナ紛争の背景に大戦中の密約があることを理解させる。 ・世界恐慌がどのようにして起こったのかを理解させるとともに、この影響でドイツの賠償問題やその後のドイツの政治状況がどうなったのかを考えさせる。 			
	前期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック経済 ・ヒトラーの支配 ・第一次世界大戦後の民族運動の高まり 		<ul style="list-style-type: none"> ・ナチスが一党独裁体制を作り上げた歴史的過程を押さえ、なぜヒトラーがドイツにおいて政権を獲得できたのかについて考えさせる。 ・第一次世界大戦中・戦後の国際状況が植民地・従属国に与えた影響を考察させ、各地域の民族運動の特質を理解させる。 			

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後 期	後期第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・満州事変 ・第二次世界大戦の勃発と終結 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解させ、平和の意義などについて考察させる。 	
	後期第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・冷たい戦争の時代 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。 	
学 年 末 試 験		<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェトナム戦争 ・中ソ対立と多極化の進展 ・冷戦の終結 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後史の大転換点となったヴェトナム戦争における民族解放、反植民地主義の動向を理解させる。 ・アメリカがヴェトナム戦争にどのように関わり、なぜ敗北したかを考察し、ヴェトナム戦争が冷戦構造にどのような影響を与えたのかを考察させる。 ・マルタ会談が行われた背景を考察し、どのように冷戦が終結したのかを理解する。 	